

いしのまき水辺の緑のプロムナード計画 (案)に対する住民意見聴取結果

平成25年3月8日
石 巻 市

1.住民意見聴取の実施状況

- ・本市では、いしのまき水辺の緑のプロムナード計画(案)(以下、見直し案という)の見直しにあたり、当初計画の作成にご尽力いただいた『いしのまき水辺の緑のプロムナード計画懇談会』(以下、懇談会という)を再設立して検討を進めてまいりました。
- ・そして、平成24年10月3日開催の懇談会にて取りまとめられた、案を基に本市の見直し案を作成し、復興に関する各種説明会やパブリックコメントにてご意見を頂いてきました。

◆見直し案の概要を配布又は説明した各種説明会等

- ・平成24年10月 4日 『市民とのまちづくり意見交換会』にて見直し案(懇談会案)の概要説明(中央公民館、約150名参加)
- ・平成24年11月29日 中央一丁目14・15番地区復興まちづくり推進協議会『街づくり等に関する説明と意見交換』にて見直し案の概要説明(石巻商工会議所、約30名参加)
- ・平成24年11月29日 中央二丁目11番地区まちづくり協議会『街づくり等に関する説明と意見交換』にて見直し案の概要説明(旧みやぎ生協イトピア店、約20名参加)
- ・平成24年12月16日 『いしのまき公園ワークショップ』にて見直し案概要版を配布(市民活動ルーム)
- ・平成24年12月21日～平成25年1月20日(1か月間) 市民から意見を聴取するパブリック・コメントを実施
- ・平成25年 1月27日 『旧北上川河口部堤防護岸復興着工式』にて見直し案の概要説明(石巻市立湊小学校)
- ・平成25年 1月27日 『いしのまき公園ワークショップ』にて見直し案の概要説明(市民活動ルーム)
(懇談会副会長東北学院大斎藤教授より説明)

2.パブリックコメントによる意見募集実施結果

・平成24年10月3日開催の懇談会にて取りまとめられた、一部見直し案を基に本市の計画案を作成し、パブリックコメントを実施いたしました。

◆意見募集窓口の設置

(平成24年12月21日～平成25年1月20日の間)

市民サロン、情報公開コーナー、荻浜、渡波、稲井、蛇田の各支所窓口へ設置

◆石巻市ホームページへの掲載

(平成24年12月21日～平成25年1月20日の間)

◆投函・メールによる意見募集

(平成24年12月21日～平成25年1月20日)

- ・メール件数 1件
- ・意見投函件数 1件

	件数	意見数
投函	1件	2件
メール	1件	20件
合計	2件	22件

◆窓口資料持ち帰り件数 : 69枚

(平成24年12月21日～平成25年1月20日の間)

市民サロン、情報公開コーナー、荻浜、渡波、稲井、蛇田の各支所窓口へ設置

いしのまき水辺の緑のプロムナード計画(案)の概要(H24年11月)

＜石巻市＞

計画策定の背景・目的

- 石巻市は、川湊として発展してきた街であり、大震災からの復興にあたっては、水辺と親しみながら人々が集い、交流し、まちが賑わいを取り戻す街づくりが不可欠。
- まちの中心部を囲むルートと拠点を配置、河川堤防を活かした整備等で、まちづくりを行う計画。

これらを一体的に活用し、河川や水辺を活かしたまちづくりを目指す。

- 空々とした流れを感じる旧北上川
- 近代日本開港の息吹を感じる北北上運河(森山運河)
- 賑わいを感じ往來する船舶を眺められる番屋野海岸
- 水運で栄えた石巻の町、各所に点在する観光資源

これらを一時的に活用し、河川や水辺を活かしたまちづくりを目指す。

- 市民や観光客が気軽に水辺を楽しみながら、石巻湊の歴史・文化等を知る。
- 将来を担う子供たちに旧北上川と石巻市の発展の関わりを学び知ってもらう。
- 人々の憩いと健康の増進。
- 中心市街地に賑わいを取り戻し、観光振興などを期待。

●いしのまき水辺の緑のプロムナード計画案 全体図 (H24年11月)

凡例
 ①～⑥ プロムナードルート
 A～H 拠点

※H24年の月計画策定直後、東日本大震災が発生。上図は復興計画に際し、土壌利用等を踏まえ、一部見直し後の計画案。
 ※拠点①と②は、計画見直しの中で、拠点①に機能を集約し、欠番となっている。

●対図案につきましては、石巻市＜市民＞課中＜河川・緑＞課中＜いしのまき水辺の緑のプロムナード計画＞係で図案を閲覧し、配布資料を閲覧いただけます。
<http://www.city.ishinomaki.lg.jp/shimokai/kyokai/procurement/plan/plan.html>

3.寄せられた意見のとりまとめ結果

いただいたご意見を分類すると、以下の通りになりました。

意見数は全部で26件あり、意見分類は11分類となりました。

なお、意見分類は、プロムナード計画(案)の頁タイトル別で分類しています。

意見分類	パブリックコメント意見総数	その他の説明会等での意見総数	整備に関する意見重複あり	利活用に関する意見重複あり	取組みに関する意見重複あり
4.プロムナードルート及び拠点	4		2	3	3
5-2.雲雀野海岸・日和大橋 プロムナードルートについて	1	1	1	1	
5-3.プロムナード拠点 祈念公園と水上交通拠点について	4		2	3	1
6-4.プロムナード拠点 観光と賑わい(中央街区周辺)について	1	2	3		
6-5.プロムナード拠点 石巻の歴史と文化の伝承(中瀬・住吉公園)について	2		2	1	1
6-6.旧北上川左岸下流(川口～湊～八幡) プロムナードルートについて		1	1		
7-2.旧北上川右岸上流(水明～大橋～運河交流館) プロムナードルートについて	1		1		
7-3.旧北上川左岸上流 プロムナードルートについて	2		1	1	1
7-4.大橋地区 プロムナード拠点について	1		1		
8-2.北北上運河(釜閘門～石井閘門)プロムナードルートについて	5		3	2	1
11.プロムナード計画の避難の考え方について	1		1	1	
	パブリックコメント意見計 22件	その他の説明会等での意見計 4件	18	12	7
	合計26件				

寄せられたご意見一覧表(1/9)

- ◆ 寄せられたご意見につきましては、パブリックコメントのほか、説明会等で寄せられたご意見がございます。
- ◆ 説明会等で寄せられたご意見につきましては、括弧書きで会議の名称を記載しております。

No.	意見分類	意見(要約)	石巻市の考え方	整備に関する意見	利活用に関する意見	取組みに関する意見
1	4.プロムナードルート及び拠点	プロムナードルートもしくはサイクリングロードを曾波神大橋あたりまで延長して欲しい。	計画は市街地を取り囲む水辺を基本としていますが、対象地域周辺のサイクリング等の堤防利用との連携に関し、利活用の促進の面から検討して参ります。		○	○
2		ルート1と5はどこかでサイクリングロードなどで接続して、環状線のようにして欲しい。	現在ある道路や復興事業で計画する高盛土道路等も交流動線と位置づけ、利活用に活かしたいと考えています。		○	○
3		プロムナードルートに設置する階段は高齢者に配慮して段差を小さくして欲しい。	今後の具体的な施設整備の検討の中で、段差や手摺の設置など検討して参ります。	○		
4		災害時に旧北上川や北北上運河を交通手段として利用できるよう、船着場の整備をして欲しい。	具体の施設整備は今後検討予定ですが、利活用の取り組みでも船の利用は重要と考えており、具体には防災面も含めて関係機関とも調整し検討して参ります。	○	○	○
5	5-2.雲雀野海岸・日和大橋 プロムナードルートについて	現在は沈下により砂浜の部分が少なくなっているが、砂を入れるなどしてある程度砂浜を復活させ、防潮堤から砂浜側に降りられるようにして欲しい。	砂浜については今後の変動を監視する必要があると考えますが、防潮堤(県施工)の利活用についても関係機関と調整しつつ検討して参ります。		○	
6		雲雀野公園から海が見えるようにして欲しい。(南浜町全体を嵩上げする等) 公園ができて防潮堤しか見えない、海が見えないということが無いように検討して欲しい。(10/4 まちづくり意見交換会)	計画案のなかでも海岸の眺望は重要な観点だと考えています。公園事業と調整のうえ、雄大な海を眺められるポイントをつくりたいと考えています。	○		

寄せられた意見一覧表(2/9)

No.	意見分類	意見	石巻市の考え方	整備に関する意見	利活用に関する意見	取組みに関する意見
7	5-3.プロムナード拠点 祈念公園と水上交通拠点について	震災前に不法係留されていた船やヨットの数を考えれば、拠点Bだけでは不足ではないか。ルート3の川口町近辺にも係留施設を整備して欲しい。	見直し案では、離島航路も含めた水面利用や水上交通の結節点及び隣接して計画される大震災の祈念公園を一つの拠点Bを位置づけ、河川管理上の支障の有無や背後地の土地利用計画などを考慮して、長期係留を必要とする船舶を安全かつ一定のルールで係留できる機能を拠点Bに確保するイメージです。 また、左岸ルート3近辺では、現況の地形では常に河川の流水が流下する位置でもあり、船舶の安全な長期係留はできません。なお、長期係留の対象とする船舶数や係留施設の規模等については今後具体的に検討する予定です。	○	○	
8		以前は雲雀野公園にサッカー場があった。以前のように照明付きのかつ多少の悪天候でも利用できる人工芝のサッカー場など整備して欲しい。	南浜地区において大震災の伝承・鎮魂の祈念公園が計画されており、市ではこれまで、市民参加のワークショップを開催し、スポーツ施設も含めたたくさんのご意見をいただきました。これらをもとに、今後、具体的な公園計画の検討を進める予定です。 ここで寄せられたご意見も公園計画を検討する際の参考とさせていただきます。	○		

寄せられた意見一覧表(3/9)

No.	意見分類	意見	石巻市の考え方	整備に関する意見	利活用に関する意見	取組みに関する意見
9	5-3.プロムナード拠点 祈念公園と水上交通拠点について	水没しかかっている導流堤のかさ上げを行い、ある程度の安全性を確保し、釣り客を呼び込めるようにして欲しい。 また、川沿いのどの場所でも釣りができるようにフェンスから水辺までの距離をある程度とって欲しい（できれば4~5m程）。もしくは、通常の道路にあるガードレールくらいの低さに抑えて欲しい。 （全区間に共通）	旧北上川河口部の導流堤は河川管理者である国によりかさ上げ等の災害復旧工事が行われる予定です。 導流堤利用に関しては、外洋に面している場所でもあり、事故等の危険性が高く、従来から河川管理者において立ち入らないよう看板等により周知を図っていますので、積極的な利用促進は困難と考えています。 川沿いのフェンスについては、様々な人々が来訪し多様な利用する中で、安全の確保を第一とし、管理上の支障のない範囲で利活用できる、位置、高さ等を検討いたします。		○	
10		流出してしまった濡れ仏に替わるようなものを建立できるよう、働きかけをして欲しい。	建立は基本的には地域住民等の発意によるものと考えておりますが、本計画の利活用促進に向けた取り組みの中では、石巻の歴史・文化、遺跡、史跡、文化財等を学ぶ、案内するといった活動を市民と協働で実施することも想定しており、今後、こうした活動を通して河川沿川の失われた史跡等を伝え残すことにつなげていきたいと考えています。		○	○

寄せられた意見一覧表(4/9)

No.	意見分類	意見	石巻市の考え方	整備に関する意見	利活用に関する意見	取組みに関する意見
11	6-4.プロムナード拠点 観光と賑わい(中央街区周辺)について	<p>市街地側とプロムナード側の連続性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地側は1層～2層程度の低層にして欲しい。 ・市街地側から川岸を感じられるようにして欲しい。 ・拠点には徒歩でアクセスするようにして欲しい。 ・市街地のスケールに合わせて、市街地側は低層店舗にする。プロムナードの階段の途中部分でも、アイストップに緑を配置するなどしたり踊り場を設けて欲しい。 ・市街地側からも空や川岸の自然を感じられる様にして欲しい。そのために、堤防天端ラインが市街地からもなるべく長く見えた方が良い。 ・駐車場は、新しい内海橋側へ配置するなどして、再開発市街地側に車がなるべく入らない様配慮をして欲しい。再開発市街地へは徒歩で行けるように。 ・再開発市街地側から見て駐車場が目立たないようにして欲しい。暗い駐車場が目立つと、市街地とプロムナードが分断されてしまいます。 <p>【13ページにイメージ図を掲載】</p>	<p>いただきましたご意見につきましては、今後、プロムナード計画の実現に向けた検討の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、市街地再開発予定区域内の開発施設・建物については、住宅や商業施設、公共施設など当該地区の開発に必要な施設・建物規模等が別途検討されており、その中で、河川堤防を活用するプロムナード計画との連続性、アクセス性を確保するよう連携して検討して参ります。</p>	○		

寄せられた意見一覧表(5/9)

No.	意見分類	意見	石巻市の考え方	整備に関する意見	利活用に関する意見	取組みに関する意見
12	6-4.プロムナード拠点観光と賑わい(中央街区周辺)について	計画案は非常に良い内容だと考えるが、この計画内容だけで人が集まるのかどうかは疑問である。この街の全体ビジョンや基本イメージを明確に示して欲しい。 (10/4 まちづくり意見交換会)	現在、再開発や区画整理、復興公営住宅などの震災復興基本計画に基づく事業計画が実施に向けて具体的に進められている一方で、中心市街地のビジョンである中心市街地活性化基本計画の改定が予定されております。 復興に必要とする個々の事業計画を取り入れて中心市街地活性化の全体ビジョンを取りまとめる予定であり、H25年度には市民の皆さんのご意見を聞きながら策定していく予定です。	○		
13		堤防と市街地再開発事業は同時進行で進めて欲しい。(11/29中央一丁目14,15番地区 街づくり等に関する説明と意見交換)	堤防整備と接する市街地再開発事業は、双方が同時に進むよう堤防事業と調整しながら検討作業を進めております。 また、プロムナード計画により、市街地と堤防や水辺との連続性を確保するような一体的なまちづくりを実現するよう引き続き検討して参ります。	○		

寄せられた意見一覧表(6/9)

No.	意見分類	意見	石巻市の考え方	整備に関する意見	利活用に関する意見	取組みに関する意見
14	6-5.プロムナード拠点 石巻の歴史と文化の伝承	中瀬の下流側の先端を以前のような岸壁にして欲しい。	中瀬は、市の震災復興基本計画においては全体を公園とする計画ですが、これまで公園化に関する市民の意見を聞くワークショップを開催しており、今後、具体的な計画内容等について検討する予定です。 いただきましたご意見についても公園計画検討の参考にさせていただきます。	○		
15	(中瀬・住吉公園)について	中瀬公園に、石巻市民が風景の中でいろいろ想像をめぐらすことができる美しい場所を創出して欲しい。子供のためにも、あまり造られすぎた公園よりも自由にいろんなことが発見できるような、元の自然の状態にあたかも戻したかのような公園がよい。(人が住み始める以前を思わせる風景)石巻の気候と植物生態にあうような計画が望ましいと思う。		○	○	○
16	6-6.旧北上川左岸下流(川口～湊～八幡)プロムナードルートについて	左岸の湊側にも川遊びができる親水空間を作って欲しい。(10/4 まちづくり意見交換会)	見直し案でも湊地区は背後の職と住が集積する土地利用計画に対応して、散策や休憩ができる憩いの空間整備をイメージしています。 いただきましたご意見につきましては、今後、プロムナード計画の実現に向けた検討の参考とさせていただきます。	○		

寄せられた意見一覧表(7/9)

No.	意見分類	意見	石巻市の考え方	整備に関する意見	利活用に関する意見	取組みに関する意見
17	7-2.旧北上川右岸上流(水明～大橋～運河交流館)プロムナードルートについて	河川敷や堤防上の道路は将来、川開き祭りの花火大会が元の場所で開催されるようになることを考えて、今よりも広めに作って欲しい。 もしくは、花火大会が開催されることを前提として河川敷や道路を作って欲しい。(周辺の駐車場の確保なども含めて)	当該区間の河川堤防は完成しており、大震災に伴う地盤沈下を復旧する工事が予定されていますが、新たな整備等は予定されていません。 現状では河川堤防を活用して階段護岸が要所に設置され、堤防天端はサイクリングロードとして利用されており、過去に開催されていた花火大会の開催にも大きな支障なく活用できると考えます。	○		
18	7-3.旧北上川左岸上流プロムナードルートについて	現在、葦などが生えているが、これを伐採せず、残して欲しい。このルートに限らず、他の場所でも葦などの水生植物を植え、水質浄化や小魚などが住みやすい環境を整えて欲しい。	現在ある良好な水辺環境は極力残していけるよう河川管理者(国)とも連携して参ります。また、当該区間の水質や生物の生息環境については、国が策定した「北上川水系河川整備計画(大臣管理区間)ー平成24年11月20日策定ー」でも保全に向けた取り組みをすることとされていますので、河川管理者にも働きかけたいと考えています。	○		○
19		カヌー等に利用されているとあるが、川幅や水質の問題はあるかもしれないが、ウェイクボードやトライアスロン等の大会も出来るように整備して欲しい。	いただきました御意見につきましては、今後のプロムナードの利活用の促進に向けた具体的な取り組みを実施する際の参考とさせていただきます。		○	
20	7-4.大橋地区プロムナード拠点について	花火大会を考慮して、今よりも広めに整備して欲しい。 また、芋煮などもできるようにして欲しい。	現在、仮設住宅が立地する状況にありますが、拠点Fの役割、将来的な整備については、今後、具体的な検討を行う予定です。	○		

寄せられた意見一覧表(8/9)

No.	意見分類	意見	石巻市の考え方	整備に関する意見	利活用に関する意見	取組みに関する意見
21	8-2.北北上運河(釜閘門～石井閘門) プロムナードルートについて	現在、運河沿いの散策路は石巻線により分断されている箇所があるので、これを一続きにして欲しい。 できない場合でも、散策路から降りる階段が段差が大きいためスロープなどに変更して欲しい。	「石巻線により分断されている箇所」は隣接する道路、線路下ボックスを一時的に迂回できますので、現状のままご利用いただくようお願いいたします。 階段段差の改良については、道路交通の状況等も考慮し、現状より安全で利用しやすい改善ができるかどうかも含め検討したいと考えています。	○		
22		仙石線の鉄橋があるあたりからビバホームのある箇所にかけて、国道45号に接続する道路(運河をまたぐ橋)を建設して欲しい。	市の復興計画の中で、避難道路として都市計画道路「石巻工業港運河線」を整備する予定であり、ご意見にある位置付近で国道45号に接続する計画です。詳細は今後、調査・設計を実施し、平成30年度の完成を目標にしています。	○		
23		中里川に関しては、工業高校を過ぎたあたりから(釜幹線用水路)ドブのようになっており、他に活用されているとは言い難く、埋め立てるなどして中埠橋あたりで北北上運河に一本化して欲しい。	北北上運河と並行する「釜幹線用水路」については、用水路として必要な通水断面の確保を行った後、残地を埋め立てる計画であり、現在、測量・設計を実施しており、平成25年度以降工事着手する予定です。 なお、用水路としての機能を持っており、北北上運河との一本化等は現時点で予定はありません。	○		

寄せられた意見一覧表(9/9)

No.	意見分類	意見	石巻市の考え方	整備に関する意見	利活用に関する意見	取組みに関する意見
24	8-2.北北上運河(釜閘門～石井閘門) プロムナードルートについて	中里川にはスイレンやハスの花が自生しているが、もう少し数を増やして欲しい。	いただきましたご意見につきましては、今後、プロムナードの利活用の促進に向けて、市民との協働による具体的な取り組みを検討する際の参考とさせていただきます。		○	○
25	北北上運河は沈下の影響で水位が上がり、釣りが出来る場所が少なくなったことや、魚の生息数が減少した可能性があることから、釣り人の姿を見ることも無くなった。このためヘラブナなどを放流し、中浦橋付近にあるような水辺に降りる階段状のものを整備し、釣り人を呼び込めるようにして欲しい。	北北上運河の整備については、現在のところ一部の堤防かさ上げが河川管理者において予定されていますが、市としても、今後、プロムナードの利活用の促進に向けた具体的な取り組みにあたっては河川管理者との連携等も含め検討して参ります。		○		
26	11.プロムナード計画の避難の考え方について	場所によっては高台まで距離があることから、津波避難施設の確保も必要とあるが、高齢者にとっては、堤防上や河川敷にいた場合、いったん堤防から降り、平地を進んで津波避難施設で上の階へ登るということをしなくてはならない為、かなりの負担になると思われる。 実現は難しいと思うが一つの案として、仙台駅前のペDESTリアンデッキのように、堤防内側に作った津波避難施設の上の階、あるいは屋上と堤防上の道路をつなぐことはできないか。	プロムナード計画の中では、記載事項としてはプロムナードの対象地区からの避難の考え方を示すにとどまっていますが、今後、市の防災計画や周辺地区で進められる復興のまちづくりが進み、避難施設、避難路等が具体化してきた際には、プロムナード計画としても一定程度の具体的な避難計画等を明らかにする必要があると考えています。 ご意見については、参考にさせていただきます	○	○	

お寄せいただいたご意見 【参考】

【参考】●お寄せいただいたイメージ(拠点C 中央街区周辺)

